



なばり

2013年(平成25年) 1月20日発行

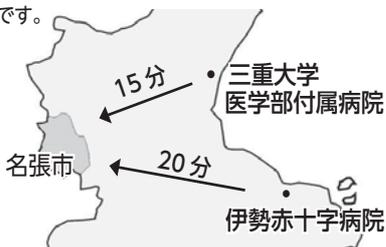
主な内容

- 2……平成24年消防白書、救急医療情報キット無償配布
- 3～6……なばり市議会だより
- 7……やなせ宿催し、パソコン教室
- 8……国津の杜の行事

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp ㊚http://www.city.nabari.lg.jp

市内へは、概ね 20 分以内で到着

三重大学医学部附属病院と伊勢赤十字病院が、基地病院となり、2ヵ月ごとに交代でヘリが常駐します。市内へは、いずれの病院からも、出発してから概ね 20 分以内に到着することが可能です。



ドクターヘリの要請は、消防機関が行います

ドクターヘリは、消防機関からの要請により出動します。市民の皆さんが直接要請することはできません。

出動可能時間は、午前 8 時 30 分～午後 5 時

※悪天候を除く。冬期は日没前まで



救急医療の専門医や看護師が搭乗

ドクターヘリは、高度な医療機器を装備した救急ヘリコプターです。傷病者の生命の危険が切迫している場合などに、救急医療の専門医や看護師がヘリコプターに搭乗。救急現場などに急行し、医療機関への搬送中に、いち早く救命医療を行います。



いのちをつなぐ ドクターヘリ出動

離着陸にご協力ください

市内の公園や学校のグラウンドなどをドクターヘリの離着陸場所に指定しています(指定場所以外にも緊急に離着陸することがあります)。

騒音や砂ぼこりが上がる恐れがありますが、救急患者の搬送のためご協力をお願いします。

- ▼人や車両は、離着陸場所の周囲から避難してください。
- ▼飛びやすい物があれば一時撤去してください。
- ▼付近住民の人は窓を閉めたり、洗濯物を一時撤去してください(砂地グラウンドの場合は砂塵対策のため散水を行います)。
- ▼消防隊員の指示に従ってください。

1人でも多くの「いのち」を救いたい!



市消防本部 消防救急室
富山 誠司

昨年 8 月と 12 月に起きた交通事故では、119 番通報で聴き取った負傷者の様子から、すぐにドクターヘリを要請しました。

ヘリ要請と同時に消防本部では、多くの署員が動き出しました。事故現場へ救急車で向かう救急隊員、閉じ込められた車両から救出する救助隊、火災や油漏れなどに備える化学消防車、事故現場近くの運動場にヘリを着陸させるため、関係機関への連絡や無線のやり取り。着陸準備と

して、砂ぼこりが上がらないように散水する消防ポンプ車。その他、安全管理や周辺住民へ広報活動。

ドクターヘリが到着するまでの 15 分～20 分あまりの時間で、多くの署員が 1 人の命を守りたいと動き、医師、看護師に命をつなげました。

ドクターヘリの運行により、あらためて命の大切さを実感しています。これからも関係機関が協力して 1 人でも多くの「いのち」を救いたいですね。

わたしたちは、いつ、どこで、交通事故や心臓発作など突発的な病気になるか分かりません。その緊急時に、いかに早く適正な治療を受けることができるかが、生死を分け、後遺症にも大きく影響するといわれています。

三重県ではドクターヘリの運航を昨年 2 月から開始。名張市へは、これまで 7 件の出動がありました。今後も、尊い「いのち」を救うため、ドクターヘリの運航にご協力をお願いします。

消防救急室 ☎63・5990